

創ろう!みなみの愉快 探そう!みらいの舞台 — みんなの『THUMBAIL』をつなげて —

第085号 (R07.02.12)

～ 学校評価のアンケート結果 その1 ～

学校評価アンケートの結果をお知らせします。アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。本校の教育活動の改善に役立てていきたいと思ひます。

各評価項目の右下の【 】に、評価結果をアルファベットで示しています。

評価項目【保護者】	評価項目【児童】	方策
1 学 び の フ ィ ル ム	(2) あなたは、生活科や総合的な学習において、絵・文・発表などで自分の想いを絵・文・発表で表すことができましたか。【A】	○探求したことを形にする活動の重視 ○地域人材や専門家の効果的活用
(4) お子さんは、ICT機器の活用、スマイルネクスト等の学習により、わかりやすく学ぶことができていますか。【A】	(4) あなたは、ICT機器の活用、スマイルネクスト等の学習により、わかりやすく学んでいますか。【A】	○ICT活用実践例の共有 ○スマイルネクストやコグトレの活用 ○デジタル教科書等の効果的活用
(5) お子さんは、自分の考えをまとめたり、考えたことを相手に伝えたりする力が身に付いていますか。【B】	(5) あなたは、授業中に自分で考えたことを伝えたり、友達と話をしたりしていますか。【A】	○聞き方・話し方アンケートの実施と授業改善 ○アンケート結果を手がかりにした個人目標の設定 ○学年・学級における重点目標の設定
	(6) あなたは、自主的に家庭学習や読書する習慣が身に付いていますか。【A】	○新聞ワークシート等の掲示によるしかけ ○小学生新聞の掲示と読みたくなるしかけ ○児童の興味・関心をいかした読書環境の整備
(7) お子さんは、「授業がわかりやすい」、「授業が楽しい」を感じていますか。【B】	(7) あなたは、授業で学習している内容がわかりますか。【B】	○ユニバーサルデザイン【焦点・手順・段階・視覚・作業・共有】の視点による授業づくり ○集中できる環境づくりと見通しをもたせる指示

【学びのフィルム】 学校協議員の意見

○自主性をもって学習していた姿が印象に残った。

○自分の考えや物事のやり方を発表を通じて、いろいろな人に知ってもらふ機会を学習に織り込んでほしい。

○AIやICT機器、デジタル教科書等を活用することは、将来の仕事につながることもある。その一方で、文字を書くことや自分で調べなくなっているのではないかな。良かったものを残していくことも大切ではないかな。

○家庭での自主学習は、新聞を読む等の媒体を活用したり、自分の好きな科目での自主研究などを取り入れてみてはどうか。

- デジタル教材を積極的に活用していただいているが、ユニバーサルデザインを意識した児童の理解を支える、更なる環境づくりの推進が必要だと思う。
- 保護者負担ありのデジタル教材の導入を検討してみてもどうか。
- ICT機器やデジタル教科書は先生・保護者・児童すべてが評価Aでしたので、浸透していると感じた。

	評価項目【保護者】	評価項目【児童】	方策
2 心 の フ ィ ル ム		(1) あなたは、各学期のスローガンを意識して、学校生活を送っていますか。 【B】	○「構想・実行・貢献」を意識した各学期の実践 ○学校通信による実践の共有
	(2) お子さんは、担任の先生だけでなく他の先生とも仲良く過ごしていますか。 【A】	(2) あなたは、担任の先生だけでなく他の先生とも仲良くなりましたか。 【A】	○体育・エンカウンター等の学年合同実施 ○児童への声かけと緩やかな関わり ○チーム担任制の試行と改善
	(3) 学校は、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めていますか。 【A】	(3) 先生は、いじめがないように取り組んでいますか。 【A】	○学校いじめ防止基本方針の策定と周知 ○学校いじめ防止年間計画の作成・実施
	(4) 子供のことで連絡や相談を学校にしやすいですか。 【A】	(4) 先生は、困ったときに相談にのってくれますか。 【A】	○相談しやすい人間関係づくり ○生徒指導担当・養護教諭を中心とした連携 ○ケース会議と専門機関との連携
		(5) 道徳の授業で、友達と考えを話し合うことにより、いろいろな考えを理解したり自分の行動にいかしたりしましたか。 【A】	○「自分事・振り返り」を意識した授業づくり ○多様な考えを引き出す中心資料の活用 ○考え広げ深める話合いの場の工夫
	(6) お子さんは、自分で進んで行動できていますか。 【B】	(6) あなたは、自分で進んで行動することができていますか。 【B】	○主体性を発揮するための教師による「しかけと関わり」を話し合う校内研修 ○児童と保護者の主体的な姿の共有

【こころのフィルム】 学校協議員の意見

- いじめの未然防止、早期発見、早期対応について相談しやすい環境が作られていると感じた。
- いじめの問題について、オールAという評価は素晴らしいと思う。
- チーム担任制により担任のみの負担が改善され、教職員と児童の幅広い関係が築けることで高い評価につながったのではないかな。
- 穏やかな人間関係づくりの第一歩は、あいさつだと思う。朝、帰りだけでなく、廊下で先生とすれ違う際には「こんにちは」とかできるだけ声を出して行うよう指導してほしい。
- いじめについては、児童を孤立させないことに努めてください。クラスの全員と仲良くとは言いませんが、3～4名程度の仲間づくりでもいいので、すぐ話ができる友達をつくるように指導してほしい。
- 児童の個性をお互いに尊重するようなコミュニケーションの時間を道徳教育に取り入れてほしい。
- 児童が進んで行動した場合、否定するような言動がないようにしてほしい。まずは、行動したことを褒めてから直すべきところがあれば指導してあげてください。
- 自分の声でSOSを発信できない児童に対する支援を充実させてほしい。
- 持ち物のチェック。ランドセルにいくつもキーホルダーをつけている児童がおり、それがトラブルの原因となることがある。